

ふるさと 通信員だより

vol.208

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域の話を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています（活動はボランティアでお願いしています）。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係（内線216）にご連絡ください。



たかだ てつこ
高田徹子 通信員

世界一きれいな田舎を作ろう

万年老人クラブ（大場博義会長、会員27人）が地域のゴミ拾いと敬老会を万年地域会館でにぎやかに開催しました。

環境美化運動の一環として「世界一きれいな田舎を作ろう」をスローガンに、沿線沿いに住む会員個々人が任意に清掃活動を行っています。

敬老会では、米寿の福田央さんをはじめ、傘寿や喜寿の7人の長寿を祝い、大場会長が「これまで地域を支えてくれました。ますますお元気で過ごしてください」と祝辞を述べました。サプライズでお祝いに駆けつけた小野町長の登場と町の歴史のスピーチには拍手喝采でした。



いしだ ひろよ
石田尚世 通信員

健康維持で毎日充実

雄飛が丘北区の辻豊子さん（83歳・写真前列中央）は健康体操の講師としてサークルのメンバーの皆さんと一緒に汗をかきます。体操を始めたきっかけは、長年にわたるご家族の介護をしていた中で、自分の体力が衰えて介護が困難になることへの不安からでした。自分の体が動くことがご家族にも、自分にとっても一番良いことだと考え、60歳のときにNPO法人生命の貯蓄体操普及会の指導員の資格を取得。知識を兼ね備え現在のサークルを始めました。人生100年時代と言われる今、健康寿命があつてこそその毎日ですね。私も最近運動不足なので体を動かしてリフレッシュします！